

平成28年度  
ふるさと創生基金事業計画書  
(案)

平成28年4月1日

長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会

## 事業テーマ

もっと

大好き

とちお



## 事業目的

### 地域資源の再認識

住民自身が地域資源を再認識することで自分たちの地域に誇りを持って住み続けられるよう、また、自信を持って栃尾の魅力を発信し、積極的に来訪者を受け入れていくことができるよう住民意識を高める。

### 交流活動の活性化

地域資源を活用したイベントの実施や積極的な情報発信により、交流活動を活性化させ、交流人口の拡大を図る。

## 事業の柱

### 1 とちお魅力アップ作戦

栃尾地域の住民が地域の宝である歴史や文化、自然を再認識するきっかけとなるような事業を展開する。

さらに、栃尾の魅力に磨きをかける事業を展開し、住民が誇りを持てる地域へと栃尾の魅力を高めることを目指す。

#### 【個別事業】

- 栃尾地域の中学校校歌保存事業
- かりやだ大交流会開催事業
- 栃尾暮らし発信事業  
婚活支援事業



### 2 リピーター倍増作戦

地域資源を積極的に活用した地域住民が主体となって取り組む事業を展開し、栃尾の魅力をPRすることによってリピーターの増加を目指す。

#### 【個別事業】

道院高原復興10周年記念トレッキング事業



平成 28 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<p><b>事業名</b></p>	<p>栃尾地域の中学校校歌保存事業</p>
<p><b>概要</b>  会場・場所 事業内容など</p>	<p>[趣旨] 校歌に謳われている地域の誇りや理念などを再認識し、同窓会などの各種会合等で歌い継ぐことにより、世代を越えた地域の絆を深める。</p> <p>[内容] 旧栃尾市の閉校した中学校 7 校（栃尾、下塩谷、上塩、東谷、荷頃、南、半蔵金）の校歌を掘り起こし、演奏会を開催して校歌を懐かしむ機会とするとともに、音源を保存し、活用していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌の楽譜や歌詞、制定の経緯などの資料を集める。</li> <li>・校歌の原曲を合唱用に編曲する。</li> <li>・校歌の歌詞に解説を加え、演奏会のプログラムに掲載する。</li> <li>・栃尾混声合唱団の協力を得て、原曲及び編曲での合唱を披露する演奏会を開催する。（栃尾市民会館にて 11 月中旬に予定）</li> <li>・演奏会の録音を CD に保存し、希望者には貸し出しを行う。</li> </ul>
<p><b>関係団体等</b></p>	<p>栃尾地域の中学校校歌を保存する会 （協力）栃尾混声合唱団</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>7 月 歌詞の解説文作成 8 月 編曲の完成 9 月 チラシ配布 11 月 演奏会の開催 12 月 CD の貸出し開始</p>
<p><b>予算</b></p>	<p>助成金 900,000 円 編曲料、印刷費、会場費、記録費（CD 作成）ほか</p>

平成 28 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<p><b>事業名</b></p>	<p>かりやだ大交流会開催事業</p>
<p><b>概要</b></p> <p>会場・場所 事業内容など</p>	<p>[趣旨] かりやだ交流会が 20 回目の節目を迎えるのを機に、栃尾に縁のある人や若い世代へ広く参加を呼びかけ、ネットワークの拡大と栃尾地域内の活動団体の情報集約・共有化を図ることにより、団体間の連携を強化し、市民活動を活性化させる。</p> <p>[内容] 第 20 回かりやだ交流会を 2 部構成とし、第 1 部として栃尾にゆかりのあるゲストによる講演会を実施する。また、これまでかりやだ交流会に参加してきた団体をはじめとする栃尾地域内の各種団体を紹介する冊子を作成する。</p> <p>会場 = 栃尾産業交流センター てまりホール 時期 = 12 月または翌年 1 月を予定</p>
<p><b>関係団体等</b></p>	<p>地域活性化ネットワークとちお</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>5 月 活動団体紹介冊子編集開始 10 月 参加者募集 12 月または 1 月 第 20 回かりやだ交流会開催</p>
<p><b>予算</b></p>	<p>助成金 600,000 円 講師謝金、広告宣伝費、冊子作成費 ほか</p>

## 平成 28 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	栃尾暮らし発信事業
<p>概要</p> <p>会場・場所 事業内容など</p>	<p>[趣旨]</p> <p>栃尾地域は冬季間の積雪など生活上の不便さもあって人口の流出が続き、空き家も増加している。</p> <p>しかし、雪が多いなどのマイナス面も捉え方によってはプラスの面となり得る。また、住宅を新築するよりは空き家をリフォームして栃尾に安く住むという選択肢もある。</p> <p>そこで、栃尾での暮らしとともに空き家の活用事例を発信し、UターンやIターンを促すことにより、空き家問題の解決と定住人口の増加を目指す。</p> <p>[内容]</p> <p>栃尾の暮らしと空き家の活用事例を紹介する冊子を作成し、県内の人口が集中する地域や首都圏などへ配布する。テーマを変え、4回発行する。A5版で16ページ程度、各2000部を予定</p> <p>テーマ = 自然・文化                      仕事と暮らし     出会いと結婚                      子育てと未来</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有効な配布先決定のための検討会を行う。</li> <li>・上記テーマを見出し的な記事とし、空き家についての記事・企画は毎回掲載する。</li> </ul>
関係団体等	とちラボ
スケジュール	<p>5月     第1号発行</p> <p>8月     第2号発行</p> <p>11月    第3号発行</p> <p>2月     第4号発行</p>
予算	<p>助成金     950,000円</p> <p>印刷費、デザイン費、取材費   ほか</p>

平成 28 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<p><b>事業名</b></p>	<p>婚活支援事業</p>
<p><b>概要</b></p> <p>会場・場所 事業内容など</p>	<p>[趣旨] 人口減少が進む栃尾地域においては、若者が結婚に対して前向きな気持ちを持つことが重要である。しかし、男女の出会いの場が少ないという現状もある。 そこで、独身男女の出会いを目的とした交流の場を設けることで婚姻数の増加へつなげ、人口減少に歯止めをかける。また、同時に栃尾の魅力を発信することにより、栃尾地域の定住人口を確保する。</p> <p>[内容] 独身男女の出会いの場となる婚活パーティー（とちコン 2016）を開催する。地元の食と物産を積極的に提供するなど、栃尾の魅力を発信する内容とする。</p> <p>時期 = 10 月頃を予定 会場 = 栃尾産業交流センター てまりホール 定員 = 男女各 30 人</p>
<p><b>関係団体等</b></p>	<p>一般社団法人 栃尾青年会議所</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>9 月 参加者募集、イベント P R 10 月 婚活パーティー開催</p>
<p><b>予算</b></p>	<p>助成金 500,000 円 会場費、報償費（司会者）、広報費 ほか 参加費収入あり</p>

平成 28 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<p><b>事業名</b></p>	<p>道院高原復興 10 周年記念トレッキング事業</p>
<p><b>概要</b></p> <p>会場・場所 事業内容など</p>	<p>[趣旨] 中越大震災による被害のため営業を中止した道院高原が営業を再開してから 10 年となるのを機に、あらためて道院高原の魅力を地域内外に発信し、利用者の増加を図る。</p> <p>[内容] ふるさと交流広場を出発し、来伝経由で道院まで歩き、帰りは刈谷田川ダム経由でふるさと交流広場まで戻る往復トレッキングを実施する。</p> <p>時期 = 10 月 30 日 (日) 予備日は 11 月 3 日 (祝) 募集定員 = 200 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃尾の名産品などがあたる抽選会を実施</li> <li>・ 地震の被害写真などのパネル展示</li> <li>・ 行きふるさと交流広場から来伝までの間はバスで移動</li> <li>・ 距離は、行き約 5.5 km、帰り約 7 km。</li> </ul>
<p><b>関係団体等</b></p>	<p>道院高原交流イベント実行委員会 (協力) 新潟総合テレビ (NST)、守門山岳会、入塩川山岳会、長岡ウォーキングクラブ</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>9 月 チラシ作成、広報開始 10 月 トレッキングイベント</p>
<p><b>予算</b></p>	<p>助成金 600,000 円 広報費、会場使用料、食材料費 ほか 参加費収入あり</p>



## 栃尾地域ふるさと創生基金事業 個別事業実施団体概要

### 栃尾地域の中学校校歌を保存する会

代表者	大崎 稔
構成員数	11人
設立時期	平成27年9月
活動テーマ	地域住民が歌い継いできた校歌を保存し、校歌に謳われている理念や地域の誇りを後世に残すとともに、地域の絆を深めるために活用していく。
団体発足の経緯と活動内容	栃尾地域の中学校が平成元年に今の2つの中学校に統合され、その後も小学校が次々と閉校になる中、長年歌い継がれてきた校歌が消えてしまうことを心配する声があがり、趣旨に賛同する有志が集まり、事業内容を検討してきた。その後、栃尾混声合唱団や栃尾文化協会など、事業化に必要なメンバーを集めたプロジェクトチームを立ち上げ、校歌の掘り起こしと保存のための具体的な事業内容の検討を進めてきた。
活動履歴	平成27年6月 旧栃尾市の閉校になった中学校の校歌を掘り起こし、歴史に残すプロジェクトチーム初代会 9月 会の名称を正式に決定し、事業の実施体制、予算等について検討

### 地域活性化ネットワークとちお

代表者	青柳 孝三
構成員数	16人
設立時期	平成25年6月
活動テーマ	地域住民主体の地域内交流事業及び他地域との交流事業などを通じ、市民活動団体相互の連携と交流を深める。
団体発足の経緯と活動内容	平成24年度まで栃尾サテライトの主導で開催されてきた地域活動団体等の情報交換の場である「かりやだ交流会」を、住民主体の会で継続していくことができるよう、初期の頃から交流会に参加している団体の代表者を中心に声をかけて設立された。かりやだ交流会を主催するほか、地域づくりインターンの受け入れや地域づくり学習会などを実施している。
活動履歴	平成25年度 ・かりやだ交流会の開催(3回) ・地域づくりインターン受け入れ ・他地域との交流事業(妙高市へ視察研修) 平成26年度 ・かりやだ交流会の開催(2回) ・地域づくりインターン受け入れ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり学習会の開催(11月～2月、計4回)</li> <li>平成27年度</li> <li>・かりやだ交流会の開催(2回)</li> <li>・にいがたイナカレッジインターン生受け入れ</li> <li>・地域づくり学習会の開催(4回) 【ふる創】</li> </ul>
--	--

ラボ  
とちLab.

代表者	今井 善章
構成員数	10人
設立時期	平成26年12月
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃尾の情報発信</li> <li>・空き家の利活用</li> </ul>
団体発足の経緯と活動内容	地域活性化ネットワークが平成26年11月から2月まで毎月1回開催した「地域づくり楽習会」の受講者有志が、楽習会で学んだことを活かした活動を実践していくために結成した団体。建築士やデザイナーなどもメンバーとなっている。平成27年度には各種イベントを実施したほか、まち場に拠点となる空き家を借りた。
活動履歴	<p>平成27年2月 2回にわたり発起人会を開催し、目標設定</p> <p>3月 発起人会を開催し、具体的事業について検討</p> <p>11月 ウェブページ開設 【ふる創】</p>

一般社団法人 栃尾青年会議所

代表者	西片 吉邦
構成員数	28人
設立時期	昭和43年10月
活動テーマ	Lovely & Universal ～愛おしいものを活動の原動力に～ (2016年度スローガン)
団体発足の経緯と活動内容	青年経済人の社会活動を目的とする公益社団法人。栃尾地域を中心に、「修練・奉仕・友情」を3信条とし、明るい豊かな社会の実現のためまちづくり・ひとづくりを目指して様々な活動を行っている。
活動履歴	<p>過去に実施したふるさと創生基金事業</p> <p>平成24年度 里山ミュージックフェス2012事業(トチロック)</p> <p>平成25年度 仲間と学ぼう・夏合宿支援事業(中止)</p> <p>平成26年度 婚活事業(とちコン2014)</p> <p>平成27年度 長岡市合併10周年記念栃尾JC旗争奪学童野球大会事業</p> <p>婚活事業(とちコン2015)</p>

道院高原交流イベント実行委員会

代表者	島 正康
構成員数	13人
設立時期	平成23年7月
活動テーマ	道院高原を利用した地域との交流を含んだイベントの開催
団体発足の経緯と活動内容	地域のシンボルである道院高原と地域が一丸となって誘客イベントを実施し、地域の活性化ならびに交流人口の増加を図ることを目的に、栃堀区、上来伝区、栃尾観光協会、栃尾施設管理合同会社が構成員となり結成された。これまでに自然体験を通じた地元と都会の子どもたちとの交流事業や、道院高原の紅葉を楽しむトレッキングイベントなどを実施してきた。
活動履歴	平成23年度 自然体験交流親子キャンプ 【ふる創】 平成24～26年度 道院高原紅葉トレッキング 平成27年度 農作業体験交流事業 【ふる創】

平成 28 年度 栃尾地域ふるさと創生基金事業 予算書

[収 入]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
長岡市負担金	3,710,000	
合 計	3,710,000	

[支 出]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
栃尾地域の中学校校歌保存事業	900,000	助成金
かりやだ大交流会開催事業	600,000	助成金
栃尾暮らし発信事業	950,000	助成金
婚活支援事業	500,000	助成金
道院高原復興 10 周年記念トレッキング事業	600,000	助成金
実行委員会運営費	160,000	委員謝金、消耗品等
合 計	3,710,000	